

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社スチールハブ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目14-1	
本票作成	部署名：施設管理チーム 施設管理班				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	鋼材の受入れから加工(表面処理、切断、曲げ、溶接)と海上輸送までのトータル一環サービス				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		同上	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 23 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 28 年度)
	9,148 t CO ₂	6,719 t CO ₂	8,691 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	本社工場	6,719 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 24 年度 ～ 平成 28 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	23.1 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産加工量(百t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(28)年度	目標年度
		1.463 t CO ₂ /(百t)	1.125 t CO ₂ /(百t)	1.390 t CO ₂ /(百t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

生産加工量が一昨年に引き続き、約4%減となったため生産加工量との相関性が高いLPG、電気使用量も減少し、排出量が低下する結果となっています。
 そのため大きな設備投資もなく設備構成は変わっていませんが、継続して行っている稼働設備の適正運用化や電動機等の更新時に高効率な機種への換装を行う等の活動により目標を上回るエネルギー起源CO₂排出量低減を達成できました。
 今後もこれら活動を継続実施することでCO₂排出量のさらなる削減に努めます。

【推進体制】

会社役員をトップとしてエネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理者、省エネ委員から構成されるエネルギー管理体制を引き続き維持、運営しており変化はありません。引き続き本体制にてエネルギー使用量やCO2排出量の削減を進め、経営活動を通じた社会貢献に努めます。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	<p>(28年度実施分)</p> <p>故障や設備陳腐化による設備稼働率低下に起因する間接的エネルギー効率低下防止のため、以下を継続的に実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 駆動系の潤滑メンテナンスによる駆動装置への負荷軽減・ コンプレッサー等のインフラ設備の定期メンテナンス推進・ 電動機等更新時の型式見直しによる効率向上 <p>(今後実施予定分)</p> <p>構内に設置されているクレーン設備(105台)の照明を構内照明と同様にLED化することで照明用電力の削減を計画しています。</p> <p>(仕様や削減見込み等を算定中)</p> <p>また今後発生する設備老朽化に伴う更新に積極的に参画し、省エネルギーの観点からの仕様提言を行い、設備省エネルギー化に努めます。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--